

Y01a **東京・ベトナム同時観測による月のステレオ写真の作成と天文教育への応用**

土橋一仁、堀口智史、佐藤吹風、新井優吾、安藤深愛、齋藤和宜(東京学芸大学)、Le Quang Thuy、Nguyen Van Tue (Quy Nhon Observatory)、Nguyen Duc Nguyen (University of Science and Technology of Hanoi)、Nguyen Luong Quang (American University of Paris)

東京学芸大学 40cm 鏡とクイニョン天文台 60cm 鏡 (ベトナム) を用いて月の同時撮影を行い、月のステレオ写真の作成に取り組んだので、報告する。この月の同時撮影は、2023 年 7 月 17 日 - 28 日にクイニョン市で開催された観測天文学の国際サマースクール (2023 SAGI Observational Astronomy School) での観測実習のテーマの一つとして行ったものである。サマースクールにはベトナム、イギリス、日本、フランスから天文学に興味のある約 30 名の学生が参加した。我々も講師や学生としてサマースクールに参加し、観測天文学に関する昼間の講義、クイニョン天文台 60cm 鏡を利用した夜間の観測実習、ヨックドン国立公園への 2 泊 3 日のエクスカージョンを通して、各国から集まった講師や学生達との交流を深めた。

観測実習のテーマとしては、トランジット法による典型的な系外惑星の観測など、小口径の光学望遠鏡でも実行可能な興味深いものがいくつかあった。土橋は講師として「月」に関する 2 つの実習テーマを企画した。本講演で報告する月のステレオ写真の撮影は、そのうちの 1 つである。東京とクイニョンは約 4000km 離れており、十分な視差が得られるはずである。ステレオ写真のための最初の撮影は、7 月 26 日 20 時頃 (日本時間) に行った。しかし、クイニョンの天気あまりよくなかったので、サマースクール終了後の 8 月 2・3 日に同時撮影を再度行った。その結果、満月に近い状態の月のステレオ写真を得ることができた。この講演では、得られたステレオ写真を示しつつ、これを学校教育のどの場面で活用できるか等を論じる。